

## 編集後記

J A B M日本ボンド磁性材料協会は会員の皆様の貴重な会費で運営されているが、予算規模だけでみるととても小さな団体である。

しかし、協会の事業目的「ボンド磁性材料工業技術の改善発達を図り、世界のボンド磁性材料関連の健全なる発展に寄与する」をスローガンに掲げ、会員一同が全力を尽くしてきた結果、国内のみならず広く海外にもその名が知れ渡り、ここにきて最高レベルの講演が続出している。最近の資源関連の代表講演例をあげる。

1. 世界最高グレードのNd焼結磁石が大量生産可能に「永久磁石の特性向上装置“Magrise”の紹介」  
世界初講演  
(株)アルバック 筑波超材料研究所 永田 浩、新垣 良憲  
第73回技術例会 2008.05.23
2. 「レアアース資源と産業」  
三菱商事(株) 非鉄事業開発ユニット 太田 辰夫  
第73回技術例会 2008.05.23
3. ロシアの最新の希土類磁石状況に関する日本初講演  
[Rare Earth Magnets in Russia]  
Dr. Nikolay KUDREVATYKH, Ural State University  
2007 B M国際シンポジウム 2007.12.07
4. 「希土類資源の有効利用と関連先端材料の開発に関する最近の取り組み」  
大阪大学 先端科学イノベーションセンター 教授 町田 憲一  
2007 B M国際シンポジウム 2007.12.07
5. 「希土類資源の安定供給にむけて」  
(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 希少金属備蓄部 馬場 洋三  
2007 B M国際シンポジウム 2007.12.07
6. 「希土類資源に関する取り組みとNdFeB磁石のDy低減化技術」  
信越化学工業(株) 磁性材料研究所 美濃輪 武久  
2007 B M国際シンポジウム 2007.12.07
7. 「希土類鉱床、資源量と鉱山開発の実態」  
産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門 鉱物資源研究G 渡辺 寧  
2006 B Mシンポジウム 2006.12.08
8. [Current Status of Rare Earth and Magnet Industry in China]  
Prof. Yang LUO, IEEE TC-15 Voting Member  
2006 B Mシンポジウム 2006.12.08

J A B Mの知名度が世界的に高くなるにつれ、磁性関連の海外のWebsiteの年間日程表にこちらが特に依頼しなくても、世界の磁性関連の代表的な講演会の一つとしてJABMが掲載されるようになり、これは日頃の協会会員の努力の成果であり、心よりお祝いを申し上げます。

機関紙編集委員長  
多田 健雄